

## 総合学科の成果と課題

H19.9.7 高校教育課

### 1. 制度の概要（文部科学省 HP）

#### (1) 導入の趣旨

高等学校の学科は、新制高校発足当時から普通科と専門学科(職業学科)の2学科制でしたが、2学科制では、現在の高校生の能力・適性、興味・関心、進路等の多様化に対応することが困難であり、また、普通科は進学、職業学科は就職という固定的な考え方が、学校の序列化や偏差値偏重の進路指導などの問題を生じさせているとの考えから、普通科と職業学科とを統合するような新たな学科を設けることとしたものです。

#### (2) 設置のめやす

総合学科には高等学校教育改革の中心的な役割が期待されており、文部科学省では、当面、総合学科を設置する公立高等学校が高等学校の通学範囲に少なくとも1校整備されることを目標としています。

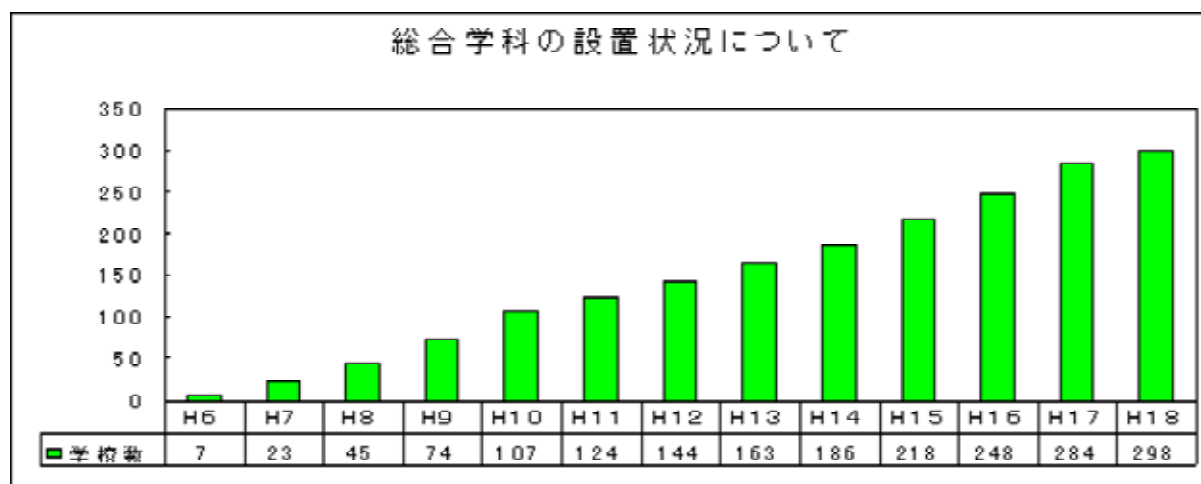
#### (3) 教育の特色

- ・ 幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことが可能であり、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視すること。
- ・ 将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視すること。

#### (4) 高等学校学習指導要領における取扱い

- ・ 原則履修科目「産業社会と人間」= 自己の個性を発見したり、将来の生き方や進路を考える。

<参考> 全国の導入状況（全日制、定時制）



## 2. 本県の状況

### (1) 導入校

学校名	校種	学級数	系列	導入年度
益田産業高校	併設 (職業系)	1	生活文化、生活福祉 食品科学、生活文化・福祉	平成6年度～ 平成14年度～
益田翔陽高校	併設 (職業系)	1	食品科学、生活文化・福祉	平成18年度～
邇摩高校	全面 (職業系)	5	情報処理、会計ビジネス、情報システム 国際文化、地域産業、環境資源、生活・福祉	平成7年度～ 平成8年度～
		4	情報・会計、流通ビジネス、国際文化 地域産業・環境、生活・福祉	平成12年度～
		3	ビジネス、生活文化、環境、福祉	平成19年度～
松江農林高校	併設 (職業系)	2	食品科学、福祉サービス、地域クリエイト	平成9年度～
三刀屋高校	全面 (普通系)	5	人文科学、人文情報、総合人間、理数科学 理数情報	平成16年度～

### (2) 志願状況

	H15		H16		H17		H18		H19		平均	
	受検者	合格者	受検者	合格者	受検者	合格者	受検者	合格者	受検者	合格者	受検者	合格者
益田産業高校 (総合学科のみ)	56	40	47	40	54	40	-	-	-	-	52.3	40.0
	(定員40)		(定員40)		(定員40)		(定員40)		(定員40)			
	-	-	-	-	-	-	46	40	52	40	49.0	40.0
益田翔陽高校 (総合学科のみ)							(定員40)		(定員40)			
	151	137	137	142	134	134	98	107	132.0	134.2		
	(定員160)		(定員160)		(定員160)		(定員160)		(定員120)			
邇摩高校	93	80	92	80	109	80	69	80	91	80	90.8	80.0
	(定員80)		(定員80)		(定員80)		(定員80)		(定員80)			
	-	-	191	194	183	183	203	200	163	161	185.0	184.5
松江農林高校 (総合学科のみ)							(定員200)		(定員200)			
	191	194	183	183	203	200	163	161	185.0	184.5		
	(定員200)		(定員200)		(定員200)		(定員200)		(定員200)			
三刀屋高校	191	194	183	183	203	200	163	161	185.0	184.5		
	(定員200)		(定員200)		(定員200)		(定員200)		(定員200)			

### (3) 本県のこれまでの基本的な考え方 (H10 21世紀に向けた県立学校づくり検討委員会答申)

総合学科の教科・科目は選択幅が広く、生徒の多様なニーズに応じることが可能であり、そこで学ぶ生徒に好評である。今後は、通学範囲に1校ずつの設置を検討することが必要である。この場合、他の学科と併設することも考えられる。

また、これまでは専門学科から総合学科への改編であったが、今後は、普通科生徒の進路の多様化や職業観の確立の観点から、普通科からの改編も積極的に検討する必要がある。

### 3. 本県総合学科の現状と課題

#### (1) 積極的な評価

生徒の多くは総合学科に満足している。(ア)

総合学科を選んだ理由は「やりたい学習ができる」「科目が選択できる」等である。(イ)

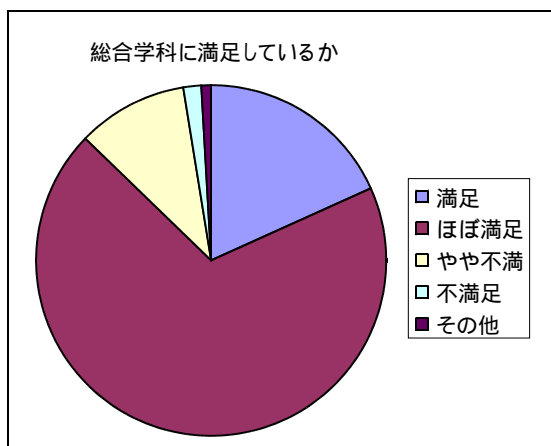
生徒は選択科目において積極的であると言える。(ウ)

「産業社会と人間」は、早期に進路目標ができ、コミュニケーション能力等を伸ばすこともできるため、生徒の評価が高い。(エ)(オ)

#### < 参考資料 >

A 高校 H18 アンケート調査 (対象: 1年～3年の全生徒 229名)

#### (ア)



#### (イ)

なぜ総合学科を選んだか? (複数回答)

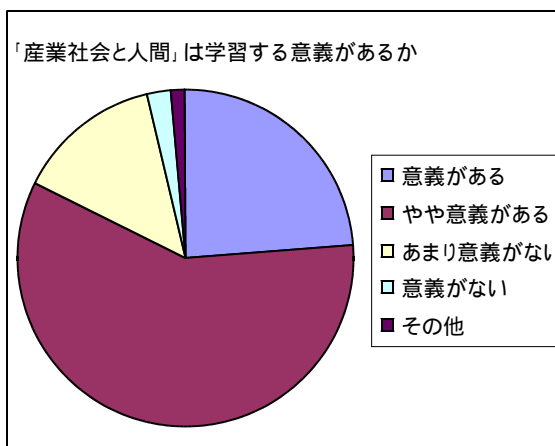
やりたい学習ができる	128
科目が選択できる	37
個性が伸ばせる	20
学力にあっている	14
進路について考えられる	12
進学に有利	9
特に理由はない	9
就職に有利	6
親や先生の勧め	5
その他	4
友人が希望	2

#### (ウ)

選択科目を決める基準は? (複数回答)

興味・関心のある科目	98
将来役立つような科目	90
進学先の受験科目	17
自分の個性を伸ばす科目	11
特に基準はない	8
点数が簡単にとれそうな科目	6
資格取得に必要な科目	5
その他	2
友人が選択する科目	0

#### (エ)



#### (オ)

「産業社会と人間」はどのような点で意義があるか?

働く意義を理解し、生き方や進路に目標を持てる	108
コミュニケーション能力を高めることができる	34
教科・科目の適切な選択に役立つ	27
自己の個性を理解し、伸ばそうという意欲が持てる	24
主体的な学習態度を身につけることができる	10
その他	1

## (2)課題となる点

### 職業系

専門的な知識・技能の深化という点で専門学科に劣る。  
専門学科に比べ資格取得という目標が少ないため、学習に対するモチベーションが低くなりがち。

### 普通系

進学希望で受験科目が多い生徒は、選択できる科目が限られるため、総合学科のメリットが少ない。  
科目が選択できる生徒も、職業系の選択科目が少ないため、進路選択に役立つような学習が十分できない。

### 共通の課題

H Rごとの授業が少ないため、生徒同士の人間関係が希薄になりがちである。  
H R担任が授業を担当しないケースが多いため、生徒理解が十分に行き届かない。  
同一時間に多くの選択科目が設定されるため授業変更が難しく、結果として自習となる授業もでてくる。  
特に中山間地域では、指導者の確保が難しく、科目開設の面で限界がある。

## 4. 今後の方向

今後、総合学科を導入するとすれば、以下のようなことについて十分検討する必要がある。  
総合学科本来のねらいを十分に生かした教育課程の編成や学校経営が可能か。  
生徒数が比較的多く、将来にわたって一定の学校規模を維持することが可能な地域か。  
総合学科以外の選択肢となりうる高校が存在する地域か。  
専門学科の場合、総合学科の系列とすることが妥当か。

<参考> 学年制と単位制の違い

